

日本関連 Q&A

ジャンル	ジャンル	質問	回答
応募	対象者	申請者の国籍に制限はあるのか？	日本以外のアジア諸国の国籍が対象(東アジア諸国、東南アジア諸国)
		大学生は申請できないのか？	制限はない
		申請者は大学に所属していないといけないのか？	制限はない(政府機関や研究機関等の所属でも申請可能)
		年齢や職位の制限はあるのか？	制限はない
		年齢や職位による有利不利はあるのか？	有利不利もない
		日本以外のアジア諸国の国籍であれば、どこかの国の大学や研究機関に所属していても申請できるのか？	可 但し、助成対象の研究期間中に日本に6か月以上滞在することはできない
		個人ではなく、グループとして申請することは可能か？	可 但し、申請者は代表者1名のみ その他のメンバーは共同研究者となる
	共同研究者		
		共同研究者数に制限はあるのか？	制限はない
		共同研究者は日本人でないといけないのか？	どの国籍を有していても可
		共同研究者は推薦者になることはできるのか？	共同研究者は推薦者にはなることができない
		日本の大学や研究機関の協力は必須なのか？	必須ではない
	応募		
		応募の規定はどこに掲載されているのか？	募集要項のⅡ.助成の対象 に掲載(住友財団公式ウェブサイト参照)
		費用として認められるものは何か？	募集要項のⅡ.助成の対象の4. 助成対象となる費用 に掲載(住友財団公式ウェブサイト参照)
		2年連続応募することは可能か？	可。但し、採択された研究者は研究終了後以降の応募が可能
		過去に採択された場合でも再度応募することは可能か？	(複数回採択されるケースもある)
		採択に有利な特定の分野はあるのか？	ない
		日本の大学や研究機関との協力は必須か？	必須ではない
		過去の採択案件や完了報告は参照することができるのか？	住友財団公式ウェブサイト参照
		研究に関して、日本訪問や研究提携先などを住友財団は紹介してくれるのか？	住友財団では紹介しない
		共同研究者は日本人でも良いのか	共同研究者の国籍の制限はない
	申請方法	申請書を電子メールや郵送で提出することは可能か？	不可 住友財団の申請システムからの応募のみ可
		一人で複数の申請が可能か？	原則一人一件の申請 異なる研究内容であれば複数の申請をすることも可 但し、その場合、異なる電子メールアドレスでの申請が必要(一つの申請につき一つのメールアドレスが必要となる)
		日本人を共同研究者に含める必要はあるのか？	日本人の共同研究者は必須ではない
		申請に際して質問がある場合はどうしたら良いか？	住友財団のメールアドレス“japan-related@sumitomo.or.jp”に問い合わせること (日本語もしくは英語のみ) 申請締切日もしくはその直前に問い合わせが来ても対応できないため、遅くとも締切日の1週間前までに問い合わせること
	申請システム	システム以外からの申請は可能か？	不可 システムからの申請のみ
	申請書	規定の書式に変更を加えて詳細に記載したり補足資料を付けることが出来るのか？	規定のページ数(8ページ)、規定のフォントサイズ(10. 5ポイント以上)を厳守のこと。 また補足資料は受け付けない。 規定が守られていない場合は申請自体を受け付けない。仮にシステム上登録できたとしても実際の審査で失格となる
		申請書様式の入手方法は？	住友財団公式ウェブサイトから入手(ダウンロード)可能
		手書きの申請書は可能か？	不可。システムからフォームをダウンロードしてPCから入力すること
		申請書は英語のみか？	英語もしくは日本語での申請可能
		申請書が締め切りまでに入力できない場合はどうなるのか？	申請期限の延長はない 締切日(締切時刻)後はシステムからの入力不可

ジャンル	ジャンル	質問	回答
	推薦書	推薦書は誰に書いてもらえば良いか？	推薦理由を具体的に記した「学識経験者」による推薦書が必要 推薦書が無い申請は不可 なお、書式の様式は自由だが、推薦者が所属する機関のレターヘッドを原則使用し、推薦者の署名ないし、捺印が必要。申請者を実際に良く知る学識経験者からの具体的な推薦状。具体性のない推薦書は無効。 共同研究者は推薦者にはなることができない
		推薦書は1通で良いのか？	1通で良いが、複数でも構わない
		共同研究者に対する推薦状は必要か？	不要
	申請予算	申請金額の上限は？	最大200万円もしくは200万円相当の米ドルの金額。 なお、申請金額は1万円あるいは100米ドル単位とする
		申請予算を作成するにあたっての換算レートは？	申請時の銀行レート等を使用のこと なお、研究終了後の会計報告書は、必ず助成された通貨(円もしくは米ドル)で報告書を作成すること
		所属機関の間接経費(オーバーヘッド)も助成対象になるか？	助成金からの間接経費(オーバーヘッド)の支出は認めない
		研究に際して、専用のソフトが必要だが、認められるか？	汎用品は不可だが、研究に特化したものであれば可
		学会の参加費用は認められるか？	研究に必要なものは可
		助成金でPCやプリンターなどを購入できるか？	汎用品は不可
		研究アシスタントの費用は認められるか？	研究期間内で補助的に採用する要員(通訳、アシスタント等)は可。研究者自身及び共同研究者の謝金は認めない
		学会参加費用、専門家の招聘費用、研究成果発表のための書籍の出版費用のみを費用とすることは認められるか？	左記費用が研究費用全体の一部である場合は認めているが、左記費用のみを費用とするケースは認めない あくまでも研究に関わる直接の費用が中心となること

ジャンル	ジャンル	質問	回答
研究	テーマ	テーマの有利不利(な分野)はあるのか？	ない
	研究方法	研究のために日本を訪問してもよいか？	可 日本訪問を推奨
		日本以外の外国を訪問してよいか？	研究に関する訪問であれば可
		研究自体に住友グループの支援(訪問等の受け入れ等)を期待できるか？	住友財団による紹介は不可
		比較研究として第三国を含めた比較研究でも良いか？	可
	研究期間	研究期間は1年間だけか？	申請にあたっては1年とする 但し、採択後実際に研究を開始して、研究遂行上延長が必要となった場合は別途申請 手続きをして、許可されれば最大2年を限度として延長可能
	研究内容	既に研究が終わっているものや 発表している内容での申請は可能か？	不可
		研究成果は住友財団で出版するのか？	しない 但し、住友財団HP公式ウェブサイト、助成対象者から提出された研究結果報告書を掲載している
		採択者だけではなく、不採択者のテーマに住友財団公式ウェブサイトから知ることができるのか？	不可 採択者の情報のみ
	研究結果	研究成果の所有権は誰が持つのか？	研究者本人
		研究結果の発表に制限はあるか？	自由に発表することが可能
		助成対象者が助成を受けるに当たって義務付けられていることは何か？	研究期間終了後に研究結果報告書、会計報告書および出版物などの成果物があれば (コピー可)提出すること
		報告書はいつ提出するのか？	研究期間終了後3カ月以内
		論文を作成する必要はあるのか？	必須ではない なお、発行する場合は住友財団への謝辞を必ず入れること
		出版物を作成する必要はあるのか？	必須ではない なお、発行する場合は住友財団への謝辞を必ず入れること

ジャンル	ジャンル	質問	回答
評価	評価基準	採択されるかどうかの評価基準はあるのか？	申請書の内容から、研究テーマの妥当性、計画性、実行性を勘案 住友財団公式ウェブサイトウェブサイトに掲載されている「選後評」を参照すること (実際に研究を実行し成果を出すことが出来るような具体的な計画かどうか また、日本とアジア諸国との相互理解に資することが重要)
	合否	不採択の理由は教えてもらえるのか？	開示していない
		評価はどのように行われているのか？	住友財団が指名する選考委員会(ならびに選考委員に指名された専門委員)が選考し、最終的には住友財団の理事会で決定する
助成金	助成金	他の資金援助(助成金)と併用してもよいのか？	可
		助成金はどのように支払われるのか？	本人指定の口座(原則個人口座)に契約締結後に支払われる
		大学経由で助成金を受けても良いのか？	可だが、大学や組織による一般管理費は含まないこと
		1件あたりの助成金額はどれぐらいか？	最大200万円もしくは200万円相当の米ドルの金額 申請時にこの金額を上回る計画書は受け付けない
		複数回、継続して助成を受けることは可能か？	可だが、過去の助成案件の研究が完了している場合のみ、新規案件の申請、助成が可能
		助成金は分割支払いか？	一括支払い
		助成金で飲食費が認められるのか？	飲食費は認めない(出張時も含む)
		助成金が残った場合はどうするのか？	原則として予算は計画通り使用すること どうしても残る場合は返金すること